

環境産業委員会会議録

- 1 期 日 平成30年12月7日（金）
- 2 会 場 第1委員会室
- 3 開会時刻 午前9時12分
- 4 閉会時刻 午前11時20分
- 5 出席者 委員長 小沼 秀朗 副委員長 藤原 正光
委員 鷺山 喜久 委員 大石 勇
委員 窪野 愛子 委員 山本 裕三
委員 松浦 昌巳
- (当局側出席者) 副市長、都市建設部長、環境経済部長、
上下水道部長、所管課長
- (事務局出席者) 議事調査係 佐野勇人

6 審査事項

- ・議案第82号 平成30年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について
- ・議案第86号 平成30年度掛川市簡易水道特別会計補正予算（第1号）について
- ・議案第87号 平成30年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）について
- ・議案第88号 平成30年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について
- ・議案第89号 平成30年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算（第1号）について
- ・議案第90号 平成30年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計補正予算（第1号）について
- ・議案第91号 平成30年度掛川市水道事業会計補正予算（第1号）について
- ・議案第96号 掛川市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
- ・議案第97号 土地の取得について

7 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成30年12月7日

市議会議長 鈴木正治様

環境産業委員長 小沼秀朗

7 会議の概要

平成30年12月7日（金）午前9時12分から、第1委員会室において全委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 当局（伊村副市長）あいさつ

3) 付託案件審査

- ・議案第82号 平成30年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について

〔環境政策課説明 9:18～9:19〕

〔質疑 9:19～9:26〕

○小沼秀朗委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○松浦昌巳委員

講師を招いての講演会は議員も傍聴は可能か。

●本多環境政策課長

可能である。

○窪野愛子委員

本来は職員向けに設定したのか。

●本多環境政策課長

職員だけではなく、市内の環境団体や広く事業者等も想定していた。

○窪野愛子委員

前回出席された方の感想は。

●本多環境政策課長

参加した職員からのアンケートはまだ取っていないが、みなさん興味を持ったことは確認している。

○窪野愛子委員

議会報告会の環境産業委員会でもシュタットベルケを報告した。参加者のアンケートの中にぜひ進めてほしいという回答もあったので、広く周知していくことが大事。

●本多環境政策課長

榛村議員の一般質問の市長の答弁にもあったが、シュタットベルケは温暖化対策、環境省の第5次の環境基本計画の中で地域循環共生圏づくりということを謳っており、掛川市としてはその1つの手法としてこれから前向きに研究していきたい。

○鷲山喜久委員

講師謝礼追加ということだが、講師料の増額か。あるいは講師の人数が増えたのか。具体的に説明を。

●本多環境政策課長

環境省の環境計画課長がみえたのは補助金とは関係なく、温暖化対策の中にシュタットベルケを謳うために、どういったものであるかを勉強しようと独自にお願いした。国庫補助金の中で、講師等を招いて技術的支援や謝礼や旅費に使えるものがあるので、それを活用してシュタットベルケを研究している方をもっと呼びしたらどうかと提案を頂いたため、新たに国庫補

助金を利用して、シュタットベルケの会社の理事や先進地の職員を招くことを積算した金額。新規の人数。

○大石勇委員

31年度の行政経営方針の一環として進めるということか。

●本多環境政策課長

そういうことある。

○小沼秀朗委員長

以上で質疑を終了する。

[農林課説明 9:27~9:31]

[質 疑 9:31~9:39]

○小沼秀朗委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○藤原正光副委員長

31年度の16池の事業前倒しの件だが、同時に全ての池の対策工事を行うのか。

●高柳農林課長

1つずつである。

○藤原正光副委員長

後半の工事は遅くなるのか。

●高柳農林課長

池にもよるが何年かにかけて施工していく。30年度の追加であげたタイミングについては最終が34年になる。

○鷺山喜久委員

調査委託料100万円の増の委託先は。

●高柳農林課長

ため池の測量業者。2社。1社で100池ずつ委託した。

○鷺山喜久委員

職員の数を減らしてきたのでやむを得ず委託になると思うが、市職員が現場をみることはないのか。

●高柳農林課長

県から8月末までに全ての池を点検をという指示があって今回は委託。報告をもらった後は職員も現場を確認する。

○窪野愛子委員

ため池は34年までにとのことだが、優先順位があるのか。

●高柳農林課長

ため池群として大きく3つに分かれている。この中で災害のおこる可能性が大きいものから対処する。

○窪野愛子委員

それはどこを想定しているか。

●高柳農林課長

順番は県の判断。順番は分からない。

○大石勇委員

ため池は容量1万m³を境にして市と県と分かれているが、現在、耐震については群ということで1万m³未満であってもすべて県の事業となるのか。

●小林農林整備室長

ため池群という考え方は昨年度位から出てきて、ひとつひとつのため池について考えていたが、決壊した場合に流域として影響が出るということを考えると、流域の中で決壊する恐れがあるものについては、ため池群として耐震改修の施工ができるようになった。

○大石勇委員

居沼池の調査は済んだと思うが、県の事業としてやっていくということは、計画はまだ分からないのか。ほとんどが調査の段階か。

●小林農林整備室長

居沼池については耐震の点検を行った。工業用水や農業用水として重要な池として使われている。ため池をからにして工事を行うことは難しい状況である事を踏まえ、当時の点検ではぎりぎり数値を下回っていたので、再度点検をし直し、耐震補強工事を実施するまでもない強度が確保できていると判明したため、それ以上の作業は行わない予定。

○大石勇委員

地元の人からは状況が分からないと聞いている。ある程度予定等を区長にいつてほしい。

●小林農林整備室長

点検の結果が分からないとご指摘を受けている。整理ができたところで地元の人へ説明する機会を設けたいと考えている。

○小沼秀朗委員長

以上で質疑を終了する。

[お茶振興課説明 9:40~9:41]

[質 疑 9:41~9:42]

○小沼秀朗委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○藤原正光副委員長

さらなるブランド力の向上の具体的なPR方法は。

●二村お茶振興課長

3年連続21回目のパンフレットやポスター作成、懸垂幕やのぼり旗の作成、品質向上や士気高揚をはかる講演等を予定している。

○小沼秀朗委員長

以上で質疑を終了する。

[下水課説明 9:43~9:44]

[質 疑 なし]

○小沼秀朗委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

- 小沼秀朗委員長
以上で質疑を終了する。

[都市政策課説明 9:45～9:47]
[質 疑 947:～9:52]

- 小沼秀朗委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

- 山本裕三委員
粟ヶ岳について。想定していた予算があって地元の協議が成立したから補正を組んだのか。

- 林都市政策課長
当初は基本的な建物だけであったが、地元との調整を進めながら外構も一緒に行うことになった。考え方としては、外構込みの想定。

- 藤原正光副委員長
外構は予定していなかったのか。

- 林都市政策課長
予定はしていたが、当初の発注の時には入っていなかった。全体として予定はあったが、確定はしていなかったので追加した。

- 藤原正光副委員長
ブロック塀について。何件増えたか。

- 林都市政策課長
例年は10件から15件。6月の補正を行い、11月末現在で42件。

- 藤原正光副委員長
6月の大阪北部地震の関係で件数が増えたと思うが、この後も件数が増えればその都度補正して全てに対応するのか。

- 林都市政策課長
今年度については今回の補正で対応する。要望があれば、来年度の当初予算で対応する。

- 窪野愛子委員
粟ヶ岳について、身障者のスロープが新たにつくられるということだが、展望デッキへのぼれるような配慮はできているか。

- 林都市政策課長
展望デッキにのぼるためのスロープである。

- 小沼秀朗委員長
以上で質疑を終了する。

[維持管理課説明 9:52～9:55]
[質 疑 9:55～10:03]

- 小沼秀朗委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○松浦昌巳委員

白線等の引き直しの件、どの地区もかなり要望がある。どの程度のものが補修の対象となるか。

●佐藤維持管理課長

都市計画道路や緊急輸送路等の主要路線、139路線、約200キロを一番最初に取り組んでいる。区画線の剥離率は60%が限界で、ラインの引き直しに入る。特に通学路や交通量が多い危険箇所を優先に区画線を引いている。

○山本裕三委員

河川の立木の除去の話は来年度以降も県とは話があるのか。

●良知都市建設部長

平成30年2月に地区からあげていただいたものを市として取りまとめ、袋井土木事務所に提出した。比較的緊急性の高い所があると市長から要望書を出した。実際に施工する袋井土木事務所とは調整をし、事務所としての優先順位もあるとは思いますが、我々としては優先順位が高いとの要望を引き続き来年度も調整していきたい。

○山本裕三委員

木はどんどん生長するので、ぜひ継続事業としてほしい。

○藤原正光副委員長

松浦議員の質問に関連して、危険箇所の考え方、優先順位を聞いたが、今回この載っているものは全て地区要望の箇所か。

●佐藤維持管理課長

地区要望であげていただいた箇所は、区長と立ち会いながら確認をし、全てではなく優先順位を決めてやっている。

○藤原正光副委員長

危険箇所は基本的にあがってきたものに対応するのか。パトロール等で危険箇所を見つけることはしていないのか。

●佐藤維持管理課長

道路パトロールで見つけた箇所と地区からあがってきた連絡書等を基にしている。

○鷺山喜久委員

資源ギャラリーから火、煙が出た原因はわかったか。

●本多環境政策課長

いまだ不明である。おそらく持ち込まれたゴミの中に発火性のものがあつた。消防の方ではぼやで処理している。

○小沼秀朗委員長

以上で質疑を終了する。

[討 議]

[討議 なし]

[討 論]

なし (なしの声あり)

[採 決]

議案第82号 平成30年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について
全会一致にて原案とおり可決

- ・議案第86号 平成30年度掛川市簡易水道特別会計補正予算（第1号）について
〔水道課説明 10:04～10:07〕
〔質 疑 10:07～10:11〕

○小沼秀朗委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○松浦昌巳委員

通常は、9月の決算期に繰り越しや決算が終わる流れだが、この時期に繰越金の補正をする理由は。

●松永水道課長

9月の議会で決算を承認いただいたので、繰り越し金が確定したので今回この繰越金の使途を議案として上程した。

○大石勇委員

前回の停電で簡易水道が断水した場合の対応についてどのように考えているか。

●松永水道課長

簡易水道については、ほとんどが水源、配水池、実際給水される最寄りの地域。これが、だんだん高さが低くなっている関係で断水にはなっていない。しかし、本谷については、配水池の方にポンプで送っているので配水池の水がぎりぎりだった。配水池の水がなくなる直前に電気が復旧してかろうじて断水にならずに済んだ。地区の区長からも危ないと連絡があり、給水車も準備していた。

今回はそのような結果だったが、水が止まってしまった場合は簡易水道も市が関与し、管理しているので給水車をもっていくなりなんらかの形で給水活動を行うことになる。

○小沼秀朗委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 議〕

〔質 疑 10:11～10:14〕

○山本裕三委員

簡易水道のことについて分からないことが多いのでどこかで勉強できたらと思う。

○窪野愛子委員

毎年、修理が発生する。それが使えなくなったら、新しいものに更新する。なので、私たちがもっと学習したい。

○鷲山喜久委員

山の中で生活をしている方も利用しているが、市としてはこの方たちがどんどん減ってまちの中で生活をするようになって、しかし、最後には1件残る。最後に1件残っても簡易水道を続けていくのか。その辺りの見極めは。私はそこで生活する人の生活をしっかりと守っていかないとならない立場に立つ。最後の1件が残っていても、簡易水道は続けるべきだと思う。ぎりぎりのところの考えはどうか。

○大石勇委員

簡易水道はわかりにくいところがある。修繕費の問題や水が供給できなくなった。電気がストップしたときにどうするのか。あるいは、下水の料金との関係。そういった関連性があるので、1時間ぐらい講義を聞いた方が分かりやすい。水質や検査だとか非常にこの簡易水道は分

かりににくいところがある。何かの機会に説明を聞けたらありがたい。

○松浦昌巳委員

現場に一度行って、源流の状態を。原泉はけっこう土砂や流木、葉が詰まることがある。やはりそういう現場を一回みなさんで見た方がいい。

○藤原正光委員

大須賀にも簡易水道があって2軒だけ離れているところがあるが、そこで市の水道を通したい。今から管を全ていれていくというと、大変なことになると思う。しかし、簡易水道自体がまちの人たちだけやっていくことができないというようなことでその区の方は困っている。その辺りも一緒に改善できれば。

[討 論]

なし (なしの声あり)

[採 決]

議案第86号 平成30年度掛川市簡易水道特別会計補正予算(第1号)について
全会一致にて原案とおり可決

・議案第91号 平成30年度掛川市水道事業会計補正予算(第1号)について

[水道課説明 10:15~10:18]

[質 疑]

なし

[討 議]

10:18~10:24

○松浦昌巳委員

最近、水道の民営化の話が出てきていて、実際に浜松市では災害時になかなか手間取っているようだが、みなさんはどう思うか。

○窪野愛子委員

日本はそこに踏み切るのが遅くて今までやってきたことがそれではやっていけないということでもまた新たな元に戻っているといことを聞いた。慎重の上に慎重ではないが、安易にそれは進めるべきではない。

○山本裕三委員

様子を見た方がいい。中身がまだよく分かっていない。どこかで勉強できれば。

○窪野愛子委員

私たちはいつでも水道の蛇口をひねれば安心安全な水が出るのが通年。そのためには、すごく様々な費用も人工もかかっている。最近、節水でトイレ等も水を使わなくなっているがそうすると水道事業が大変になる。節水はしてほしいが、使ってほしいというもどかしい部分があるが改めて、今回の停電で電気と水の大切さを市民は感じたと思う。この水の大切さ、命を育む水の教育もすごく必要だと思う。

○小沼秀朗委員

今回24号の停電があって給水活動、自家発電、運転管理の作業等が550万が補正で水道事業会計から出る。この辺りが先ほど松浦委員のいった民営化にしていくことと、こうやって官と民でやっているこの辺りも今後考えていく材料かと思う。何か災害があって民間でやった場合、こうやって財源がすぐでるところがあるかということその辺りも考えないといけないのでは。

○鷲山喜久委員

これだけでなく官から民へと言われるが、安上がりな庁舎を目指すことに根本にはなる。その根本をやはり議員間で勉強する。本当にそうなのかどうなのかというところを。やたら上の方が官から民という。それを鵜呑みにしてしまうようでは、誠に具合が悪い。根本が何かを議員なので勉強する必要がある。その上に立てば、賛成でも反対でもいい。これなしに、議論をどんどん進めるのはどうかと思う。

[討 論]

なし (なしの声あり)

[採 決]

議案第91号 平成30年度掛川市水道事業会計補正予算(第1号)について
全会一致にて原案とおり可決

・議案第96号 掛川市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

[水道課説明 10:26~10:29]

[質 疑 10:29~10:32]

○小沼秀朗委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○鷺山喜久委員

これで水の関係はここに全て集まると思うが、元の場所は今後どうするのか。

●松永水道課長

現在の予定では、事務所の横に管理棟というのが元々浄水場の建物だったが、その中に遠方監視システムのサーバーが1つある。そこをもとに、市内のほとんどの施設の状況を監視するモニターがあって、民間委託でウォーターエージェンシーという会社に夜間と休日をずっと待機してもらいそれを監視していただいている。そこが、完全に空になってしまうと物騒なところもあるし、その監視業務については今まで通りやっていただく予定。さらに、事務所もどこか水道に関する事業を手がけているような民間に借りてもらえないか話をしている。できる限り効果のある使い方をしていきたいと考えている。また、広さのスペースがあるので災害時の給水拠点という考えも持っている。大規模な災害が起こったときには、市外県外全国から給水の支援活動に来てくれることが予想される。そのときに、寝泊まりも含めてたくさんの人、たくさん車が来てそこで水を補充していろいろなところに給水活動にいてもらう。そのためには、あれぐらいの施設が必要ではないかと考えている。なので、現在のところは災害時の給水拠点という位置づけでも考えている。

○山本裕三委員

水道に関係した事業でないといけないのか。

●松永水道課長

そのように決まっているわけではないが、水道課としては今監視しているところがある。それから、色々な施設を管理しているところも民間に委託してやってもらっているところもあるのでできればそういったところが、水道組合も含めてそういうところに借りてほしい。もともと水道の施設なので水道に関わったところに借りていただくのが一番いいと思っている。しかし、必ずしもそういう業界でなければならないというものではない。

○松浦昌巳委員

給水ポンプやタンクは置いたままにするのか。

●松永水道課長

移転と同時に新しい倉庫を造ることになっているが、全ての車が入るわけではないので給水車2台ある内の1台は持ってくる。いずれは、全てこちらに置いといた方がいざというときに

は使い勝手がいいと考えているが当面は給水車やトラックなどもまだ置いていく。材料についても、非常に大きな材料、口径にして300、400といったものは、通常そんなに使うものではないので、そちらの方にまだ置いておく予定。

○小沼秀朗委員長
以上で質疑を終了する。

[討 議]
なし

[討 論]
なし (なしの声あり)

[採 決]
議案第96号 掛川市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
全会一致にて原案とおり可決

・議案第87号 平成30年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

[下水道課説明 10:37~10:47]

[質 疑 10:47~10:59]

○小沼秀朗委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○松浦昌巳委員
マンホールについて、液状化防止ということだが、そこが液状化を起こす可能性があるということでは57カ所選んだのか。

●塚本下水道課長
公共下水道区域内の液状化する箇所で行くと広範囲になる。57カ所は絞り込んだ数字である。絞り込んだ条件は、処理場に直結する重要な幹線管渠。次に、防災拠点と処理場を直結する重要な幹線管渠。もう一点は、県や市が指定する緊急輸送路について。緊急輸送路でマンホールが浮上してしまうと緊急車両の通行に支障をきたすのでそういう路線も選定している。その結果、57箇所である。

○大石勇委員
大東区域の東大坂興国インテックの北西の三叉路。マツヤ電気のすぐ東のところのマンホールがそうか。

●塚本下水道課長
この工事はまだやっていない。これから始める。マツヤ電気のところは、マンホールポンプがついている。それは違う。

○大石勇委員
浮くと何が問題なのか。

●塚本下水道課長
マンホールが浮くと、管路とマンホールが遮断され、水が流れなくなってしまう。もう一点は、浮いたことによりその上の道路が通行できなくなってしまう。

○藤原正光副委員長
債務負担行為の補正で掛川・大東・大須賀浄化センター施設運転管理業務包括委託について、

現行契約期間の3年間で3,100万ぐらいのコスト削減の効果があったということだが、具体的にどういうことで削減できたか。

●塚本下水道課長

包括委託することにより、受ける業者の仕事が3年間担保されることで、元請けを今回ウォーターエージェンシーがやっているが、経営計画がまず立てやすい。そのことで、ウォーターエージェンシーで人を雇う。また、関連会社と契約を結ぶ。さらに、材料を調達する。そういった色々なものが3年間は、担保することができる。今まであれば毎年単年で契約をしたり、色々な事務が発生するがそういったものも3年間はなくて済むといったところから、経費の削減ができるところが一番大きい。包括委託には、薬品代とかそういったユーティリティ関係の費用が含まれている。そういったものが3年間担保されることにより、仕入れ価格を下げることができ、そういったところでも経費の削減につながっている。

○鷺山喜久委員

3年を5年をした。受ける方は5年間、値引きをしても取りっぱぐれることはない。掛川市としては、2年プラスにしたことで余程メリットがないと具合が悪い。それを今説明をされた。委託先はウォーターエージェンシー1社か。他にもあるか。

●塚本下水道課長

現在、ウォーターエージェンシーと契約をしているが今回また新たにプロポーザル方式で公募をかける。そこで応募のあったところから提案を受けて、業者を選定する。今のところは何社あるかは分からない。

○鷺山喜久委員

ウォーターエージェンシー以外で公募を申し込む可能性がある会社は分かるか。

●塚本下水道課長

前は公募の結果、ウォーターエージェンシー1社だけだった。近隣をみると、浜松市の業者等も応募される可能性もある。

○鷺山喜久委員

良い意味で競争原理が働くように、ウォーターエージェンシー以外にも公募をする。結果としてウォーターエージェンシーに決まる場合もあるかもしれないが、そういった点で厳しく公正な目で。会社の内容や将来性をしっかりと判断するように。利益一辺倒ではなく報徳と経済が両立している掛川の考えを踏襲できる掛川にふさわしい良い会社に落ち着くように選ぶべき。良いまち、良い市をつくるのが、議員と職員の仕事だと思う。

●伊村副市長

包括委託は環境資源ギャラリーでもやっているが、大事なことは、しっかりと緊張関係を持ってやっていること。どこかの業者が入ってずっとマンネリ化してやるというのは、決して無いように心がけていかないといけないと思う。指定管理で見ると、例えば22世紀の丘公園が静岡ビル保全が5年間やっていたが、責任者の社長がよく代わり、市民からの苦情がよく出ているという状況で、契約の更新時期が来たので当時はビル保全しかないみたいだったので、こちらかも他の業者に働きかけをして、他の業者でやってくれるところを探して、最終的には西東石油が手を上げて、正規職員も増員、価格も安く提案内容もよかったので決まった。公募に参加する会社がないからといって同じ会社に継続的に頼むやり方はよくないので、この下水施設の管理も全国で見ればやっている会社が複数あると思う。そういうところにも、しっかりと緊張関係を持ってやっていく。マンネリ化しないことは大切だと思う。これまでも、そういう局面の時には、私も指示をしてやっているのでも今回も、部課長も承知の上対応をしている。

○小沼秀朗委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 議〕
なし

[討 論]
なし (なしの声あり)

[採 決]
議案第87号 平成30年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算 (第1号) について
全会一致にて原案とおり可決

・議案第88号 平成30年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号) について

[下水道課説明 10:59~11:01]

[質 疑]
なし

[討 議]
なし

[討 論]
なし (なしの声あり)

[採 決]
議案第88号 平成30年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号) について
全会一致にて原案とおり可決

・議案第89号 平成30年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算 (第1号) について

[下水道課説明 11:02~11:03]

[質 疑]
なし

[討 議]
なし

[討 論]
なし (なしの声あり)

[採 決]
・議案第89号 平成30年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算 (第1号) について
全会一致にて原案とおり可決

・議案第90号 平成30年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計補正予算 (第1号) について

[産業労働政策課説明 11:05~11:07]

[質 疑 11:07~11:10]

○小沼秀朗委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○藤原正光副委員長
債務負担に係る用地買収の件について。これは、255筆の12ヘクタール全ての金額ということ

か。

- 戸塚産業労働政策課長
今回、用地買収費は全ての金額である。

- 小沼秀朗委員長
以上で質疑を終了する。

[討 議]
なし

[討 論]
なし (なしの声あり)

[採 決]
・議案第90号 平成30年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計補正予算(第1号)について
全会一致にて原案とおり可決

- ・議案第97号 土地の取得について

[土木課説明 11:11~11:16]

[質 疑 11:16~11:18]

- 小沼秀朗委員長
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

- 鷺山喜久委員
資金繰りは、有利で良いということは、よく分かるがここを通ると子どもがサッカーをしている。サッカーができなくなるようなことはあるのか。サッカーをやられてる方が被害者になることはないか。

- 岩清水土木課長
サッカー場については、みなさんのご要望も強いいためサッカーをやれる範囲は残す。その周りを整備し、みなさんが使い勝手の良いようにする。

- 窪野愛子委員
この、ゆうゆうパークはどのくらいの期間でこうなったのか。

- 森長土木課主幹
県からは平成9年の3月に譲渡を受けている。

- 小沼秀朗委員長
以上で質疑を終了する。

[討 議]
なし

[討 論]
なし (なしの声あり)

[採 決]
・議案第97号 土地の取得について

全会一致にて原案とおり可決

- 4) 協議事項
閉会中継続調査申し出事項について

別紙のとおり12項目で了承

- 5) その他

- 6) 閉会 11:20